



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月10日

上場会社名 トレックス・セミコンダクター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6616 URL https://www.torex.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 芝宮 孝司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 事業戦略室長 (氏名) 木村 浩 TEL 03-6222-2875
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益又は 経常損失(△)		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	5,227	100.1	204	△43.9	△384	-	2,209	756.3
28年3月期第1四半期	2,612	14.2	363	46.8	387	111.6	258	120.9

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 1,830百万円 (466.9%) 28年3月期第1四半期 322百万円 (215.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	226.60	221.75
28年3月期第1四半期	24.29	23.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	25,255	13,613	44.7	1,157.65
28年3月期	12,972	10,928	83.9	1,022.30

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 11,289百万円 28年3月期 10,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	16.00	-	16.00	32.00
29年3月期	-	-	-	-	-
29年3月期(予想)	-	16.00	-	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益又は 経常損失(△)		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,300	93.5	400	△50.0	△100	△118.1	2,400	360.9	225.35
通期	20,500	93.0	900	△21.0	400	△55.3	2,700	365.2	253.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規1社（社名 フェニテックセミコンダクター株式会社）、除外1社（社名）

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	10,650,000株	28年3月期	10,648,400株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	－株	28年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	10,649,680株	28年3月期1Q	10,623,134株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかな回復が続きましたが、欧州経済は金融緩和による景気持ち直しの動きに一服感が見られ、英国のEU離脱の決定により、先行きが不透明な状態が現れてきております。また、新興国においては、インド経済が底堅い成長を続けていますが、中国経済の鈍化傾向は変わらず、一部新興国ではマイナス成長が続くなど、全体の景気に減速感が見られました。

わが国経済においては、昨年来の企業業績の回復や雇用状況の改善にもかかわらず、輸出の伸び悩みや年初からの円高進行を受けて民間消費は低調に推移し、世界経済の不透明感を背景に一部景気回復に弱さが見られました。

このような環境のなかで、当社グループは、経営理念にある「市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」ため、電気機器の小型化・省電力化に「電源」の観点から取組み、収益力の強化と持続的な成長の実現に向けて、以下の諸施策を継続的に推進してまいりました。

- ・ 関西技術センターの開設をはじめとした開発リソースの拡充に向けた投資を実施し、戦略的提携先との共同開発を進める等、差別化の出来る高付加価値な製品を迅速にターゲット市場へ投入していくための施策を推進しました。
- ・ 製品企画段階からのコスト分析の徹底、生産計画の効率化を進めるとともに、グループ内の製造子会社との協力体制を深め、同業他社に比して競争力のある製造コストと納期対応の実現に取り組みました。
- ・ 米国デザインセンターの開設や海外販売子会社における営業・技術サポート担当者の充実を図り、顧客の要望や製品企画への迅速な対応に努めました。
- ・ 品質保証部門における増員及び設備投資を実施するとともに、協力工場等との一層の関係強化を進め、ターゲット市場を意識した品質保証体制と各種認証制度への対応を図りました。
- ・ 子会社化したフェニテックセミコンダクター社とのシナジー効果を高め、グループ収益の最大化につなげるため、相互の人的交流や共同プロジェクトをスタートしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高52億27百万円（前年同期比100.1%増）、営業利益2億4百万円（前年同期比43.9%減）、経常損失3億84百万円（前年同期は経常利益3億87百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益22億9百万円（前年同期比756.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

当第1四半期における売上高は、主に産業機器、車載機器の分野向けの売上が増加しましたが、デジタル家電等の分野向けの売上が減少したことにより、34億80百万円（前年同期比424.2%増）となりました。

なお、当第1四半期よりフェニテックセミコンダクター株式会社（以下、「PTS」といいます）を含めていることにより、売上高が25億25百万円増加しております。

②アジア

当第1四半期における売上高は、主にデジタル家電機器、家電機器等の分野向けの売上が増加しましたが、PC機器、アミューズメント機器の分野向けの売上が減少したことにより、13億68百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

③欧州

当第1四半期における売上高は、主に産業機器等の分野向けの売上が増加しましたが、その他の分野向けの売上が減少したことにより、2億3百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

④北米

当第1四半期における売上高は、主に産業機器等の分野向けの売上が増加しましたが、デジタル家電機器等の分野向けの売上が減少したことにより、1億74百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は190億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ82億77百万円増加いたしました。これは主にPTSを連結の範囲に含めたことにより、現金及び預金が44億62百万円、受取手形及び売掛金が11億74百万円、たな卸資産が18億80百万円増加したことによるものであります。固定資産は61億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億5百万円増加いたしました。これは主にPTSを連結の範囲に含めたことにより、有形固定資産が33億35百万円、投資その他の資産が6億6百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、252億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ122億82百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は73億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ57億66百万円増加いたしました。これは主にPTSを連結の範囲に含めたことにより、短期借入金が35億99百万円、1年内返済予定の長期借入金が10億74百万円、1年内償還予定の社債が5億円増加したことによるものであります。固定負債は42億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億31百万円増加いたしました。これは主にPTSを連結の範囲に含めたことにより、長期借入金が25億70百万円、退職給付に係る負債が2億66百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、116億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ95億98百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は136億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億84百万円増加いたしました。これは主にPTSを連結の範囲に含めたこと等により利益剰余金が20億67百万円、非支配株主持分が22億80百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は44.7%（前連結会計年度末は83.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の「平成28年3月期 決算短信」において、フェニテックセミコンダクター株式会社の子会社化に伴う影響について未確定な要素が多く、当該時点では数値で示すことが困難であったため、開示を控えさせていただいておりました。当第1四半期連結累計期間において精査を進めた結果、本日公表の「平成29年3月期の連結業績予想に関するお知らせ」に記載のとおり、平成29年3月期の連結業績予想の公表に至りました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当四半期連結累計期間に、フェニテックセミコンダクター株式会社について、株式の取得により子会社となったため、新たに連結の範囲に含めることとしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,641千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,616,828	11,079,184
受取手形及び売掛金	1,921,877	3,096,503
有価証券	300,000	400,000
たな卸資産	1,678,821	3,559,438
その他	301,519	961,157
貸倒引当金	△1,424	△1,127
流動資産合計	10,817,621	19,095,156
固定資産		
有形固定資産	1,120,046	4,455,522
無形固定資産	203,813	267,566
投資その他の資産		
その他	831,390	1,461,920
貸倒引当金	—	△24,304
投資その他の資産合計	831,390	1,437,616
固定資産合計	2,155,250	6,160,704
資産合計	12,972,871	25,255,860
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	797,787	947,206
短期借入金	3,366	3,603,075
1年内返済予定の長期借入金	—	1,074,820
1年内償還予定の社債	—	500,000
未払法人税等	133,315	148,619
賞与引当金	96,695	122,367
その他	591,223	993,147
流動負債合計	1,622,388	7,389,236
固定負債		
長期借入金	—	2,570,268
退職給付に係る負債	236,616	503,165
役員退職慰労引当金	9,095	—
その他	175,781	1,179,725
固定負債合計	421,494	4,253,159
負債合計	2,043,883	11,642,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,819,585	1,820,171
資本剰余金	4,286,559	4,287,145
利益剰余金	4,690,819	6,758,444
自己株式	—	△1,428,147
株主資本合計	10,796,965	11,437,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△31,266	△70,845
為替換算調整勘定	120,242	△76,990
その他の包括利益累計額合計	88,975	△147,836
非支配株主持分	43,047	2,323,687
純資産合計	10,928,988	13,613,465
負債純資産合計	12,972,871	25,255,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,612,701	5,227,355
売上原価	1,292,771	3,758,745
売上総利益	1,319,930	1,468,610
販売費及び一般管理費	956,175	1,264,586
営業利益	363,755	204,023
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,825	14,111
為替差益	24,072	—
ロイヤリティ収入	1,146	1,051
その他	5,653	5,430
営業外収益合計	33,698	20,593
営業外費用		
支払利息	266	8,769
為替差損	—	580,273
支払手数料	8,000	8,000
その他	1,925	12,099
営業外費用合計	10,191	609,141
経常利益又は経常損失(△)	387,262	△384,524
特別利益		
負ののれん発生益	—	1,966,967
受取補償金	—	518,872
受取保険金	—	11,523
特別利益合計	—	2,497,363
特別損失		
災害による損失	—	5,740
特別損失合計	—	5,740
税金等調整前四半期純利益	387,262	2,107,099
法人税等	128,816	11,690
四半期純利益	258,445	2,095,408
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	388	△114,430
親会社株主に帰属する四半期純利益	258,057	2,209,838

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	258,445	2,095,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,285	△64,313
為替換算調整勘定	51,247	△200,169
その他の包括利益合計	64,532	△264,483
四半期包括利益	322,978	1,830,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321,723	1,973,026
非支配株主に係る四半期包括利益	1,254	△142,101

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間より、フェニテックセミコンダクター株式会社を連結子会社としております。この結果、特別利益としての負ののれん発生益1,966,967千円を計上したこと等により、当第1四半期連結累計期間において利益剰余金が2,067,625千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において利益剰余金が6,758,444千円となっております。

また、フェニテックセミコンダクター株式会社が当社株式1,760,000株を所有していることに伴い、自己株式が増加したことにより、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,428,147千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が1,428,147千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高 (注2)							
外部顧客への売上高	663,917	1,548,644	212,490	187,648	2,612,701	—	2,612,701
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,665,487	116,287	11,627	3,989	1,797,391	△1,797,391	—
計	2,329,404	1,664,932	224,118	191,637	4,410,093	△1,797,391	2,612,701
セグメント利益 又は損失 (△)	304,646	26,057	13,726	△2,256	342,173	21,581	363,755

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額21,581千円には、セグメント間取引消去21,581千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域（デザイン・イン・ベース）の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。電子部品の販売においては、デザイン・イン・ベースと、当社の製品が納品されて電子機器等の製造に使用される地域（シフト・イン・ベース）とが異なることがあります。セグメント情報においてはシフト・イン・ベースで地域別の情報を集計しておりますが、デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位：千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	1,029,241	958,114	398,945	226,400	2,612,701

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	3,480,483	1,368,793	203,732	174,345	5,227,355	—	5,227,355
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,529,152	83,935	10,875	5,865	1,629,829	△1,629,829	—
計	5,009,635	1,452,729	214,608	180,211	6,857,184	△1,629,829	5,227,355
セグメント利益	189,128	36,948	10,070	1,929	238,076	△34,053	204,023

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△34,053千円には、セグメント間取引消去△34,053千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。電子部品の販売においては、デザイン・イン・ベースと、当社の製品が納品されて電子機器等の製造に使用される地域(シフト・イン・ベース)とが異なることがあります。セグメント情報においてはシフト・イン・ベースで地域別の情報を集計しておりますが、デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	3,767,437	829,940	388,849	241,127	5,227,355

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第1四半期連結会計期間において、フェニテックセミコンダクター株式会社の普通株式を取得し、連結範囲に含めた事により、前連結会計年度の末日に比べ、「日本」のセグメント資産が16,465,463千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「日本」セグメントにおいて、フェニテックセミコンダクター株式会社の株式を取得し、新たに連結子会社としました。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては1,966,967千円です。